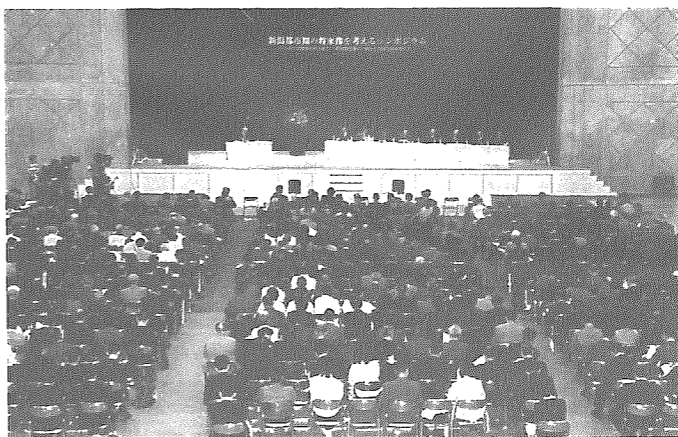


# 新潟都市圏の将来像を考える シンポジウム

＝ 11月14日(火) 横越町総合体育館 ＝

11月14日、新潟都市圏の将来像を考えるシンポジウムが、当町総合体育館で開催され、横越町民を含む圏域の住民約500名が参加しました。

このシンポジウムは、新潟都市圏の一体化の議論を通じ、市町村合併の必要性や効果、住民自治、地域コミュニティといった地域社会のあり方などについて、新潟都市圏の首長が一堂に会して語り合い、住民のみならずと一緒に考えようと、平成10年から毎年行われており、今回で3回目となりました。



はじめに長谷川新潟市長から「いろいろな方向から、広域合併の構想について、必要性や課題について話し合います」と題して開会のあいさつがあったのちに続き、与田一憲氏（新潟商工会議所政令指定都市推進特別委員会委員長）から、「緑豊かな国際商業都市を目指して」と題して基調講演があり、「世界的な都市間、地域間競争の中で、中核市の新潟市ですら衰退の恐れがある。時代の変化に対応し、直面する諸問題を解決するには、市町村合併と政令指定都市の実現が不可欠。関係市町村の首長・議員・住民のみならずが議論し合うことが大切です」と合併による政令指定都市実現の必要性を強調していました。

引き続き、パネルディスカッションが行われ、パネリストとして新潟都市圏を構成する8市町の各首長、

「商業都市を目指して」



基調講演で語る与田一憲氏

長谷川新潟市長、湯田新津市長、竹内白根市長、小川豊栄市長、渡邊聖籠町長、浅見横越町長、阿部亀田町長、河内黒埼町長、コデーネーターの目黒剛氏（新潟経済同友会常任理事）が、「にいがたの都市のまとまり」新潟都市圏の一体化と地域社会を考える」をテーマに、新潟都市圏の将来像を話し合いました。その中で、各首長の意見の要旨は次のとおりでした。

## ●長谷川新潟市長

新潟市内の医療・文化施設などを周辺市町村の多くの住民が利用し、生活の面では既に広域化が進んでいる。生活圏と行政の区域との一体化を図るとともに、政令指定都市実現により、道路、港湾、交通システムなど色々な面で管理が容易になり、行政サービスの質が向上する。

## ●湯田新津市長

新津市は中東蒲原とのつながりが強く、丘陵を活かした地域の独自性があるが、よりよい合併について考えていかなければならない。

## ●竹内白根市長

白根市は新潟市と県央地域を結ぶ位置にある。学区問題の解消や拠点性の向上のためにも、合併の様々な項目について今後検討したい。

## ●小川豊栄市長

政令指定都市は基礎的自治体（一般の市町村）とは異なる。政令指定都市も大事だが、住民自治と地域コミュニティを大切にしていきたい。

## ●渡邊聖籠町長

聖籠町は、商業・教育などの面では新発田圏域に含まれている部分もあり、平成17年の市町村合併特例法の期限までに合併というのは難しい。

## ●浅見横越町長

財政などの諸問題に対応するには、段階的に少しずつ合併を進めていくよりも、各自治体が一気に合併し、早期に政令指定都市を実現すべき。

## ●阿部亀田町長

体育館の利用や行政サービスの面で一体化は既に進んでいるが、住みよい地域づくりのためにも、さらに合併に向け議論を進めていかなければならない。

## ●河内黒埼町長

黒埼町はすでに生活圏で新潟市に大きく依存している。合併によるメリットとデメリットの数をそれぞれ比較した場合、メリットの方がはるかに多かったため、合併に向けこれまで議論を深め、来年1月に合併することになった。

このように首長たちは持論を展開し、合併のメリットやデメリット、政令指定都市実現へのプロセスや利点、ゴミやし尿などの共同処理に係る他の市町村とのつながり、地域の歴史や文化など独自の維持などについて、参加者はメモをとりながら熱心に聞き入っていました。

また、参加者からの質問に対し、各首長が答える時間も設けられました。

目黒氏は「色々な問題がある中、合併の何が良く、何が悪いのかを住民とともに十分議論をすることが大切であり、合併と政令指定都市実現に向け、今後



閉会のあいさつをする浅見町長

市、名古屋市、神戸市、北九州市、川崎市、札幌市、福岡市、広島市、仙台市、千葉市の12市が政令指定都市となつていきます。現在、国では市町村合併を推進する立場から、政令指定都市へ移行できる要件の緩和を検討しています。

新潟都市圏総合整備推進協議会では、政令指定都市問題研究会を組織し、新潟都市圏が目指す将来像について調査研究を進め、日本海側の中枢拠点都市としてさらなる発展を目指すため、「田園型政令指定都市」を提案しています。

## ◎政令指定都市とは

政令指定都市は、県並みの行政権限を持ち、県を経由しないで国と直接交渉でき、一般の市とは異なる特例が認められています。

現在、大阪市、京都市、横浜



▲新潟都市圏の将来像について語る8首長



河内直史  
黒埼町長

阿部學雄  
亀田町長

浅見良一  
横越町長

渡邊廣吉  
聖籠町長

小川竹二  
豊栄市長

竹内 正  
白根市長

湯田幸永  
新津市長

長谷川義明  
新潟市長